

平成27年度

都市計画道路 沼津三島線

事業再評価

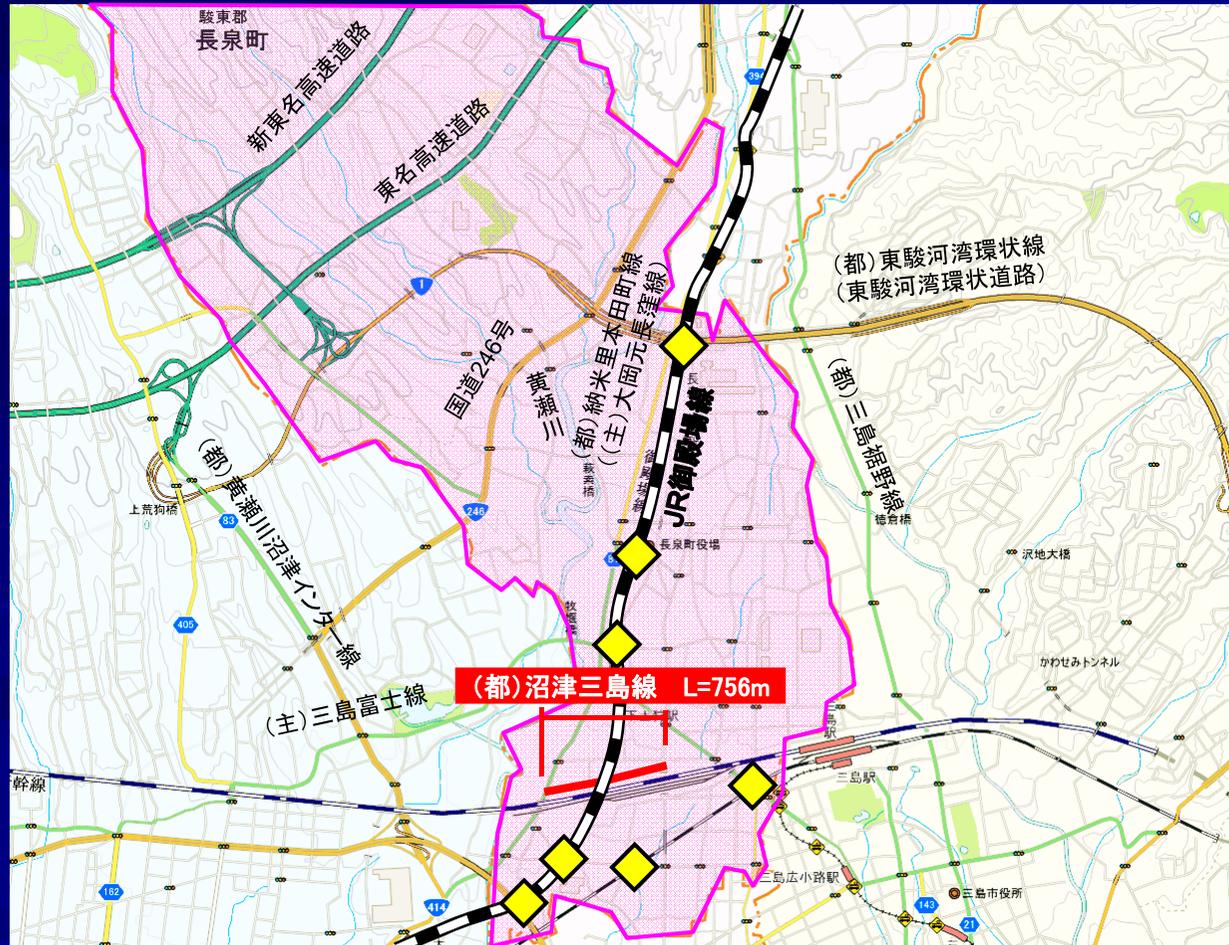
静岡県 交通基盤部 都市局 街路整備課

位置図



周辺の道路状況①

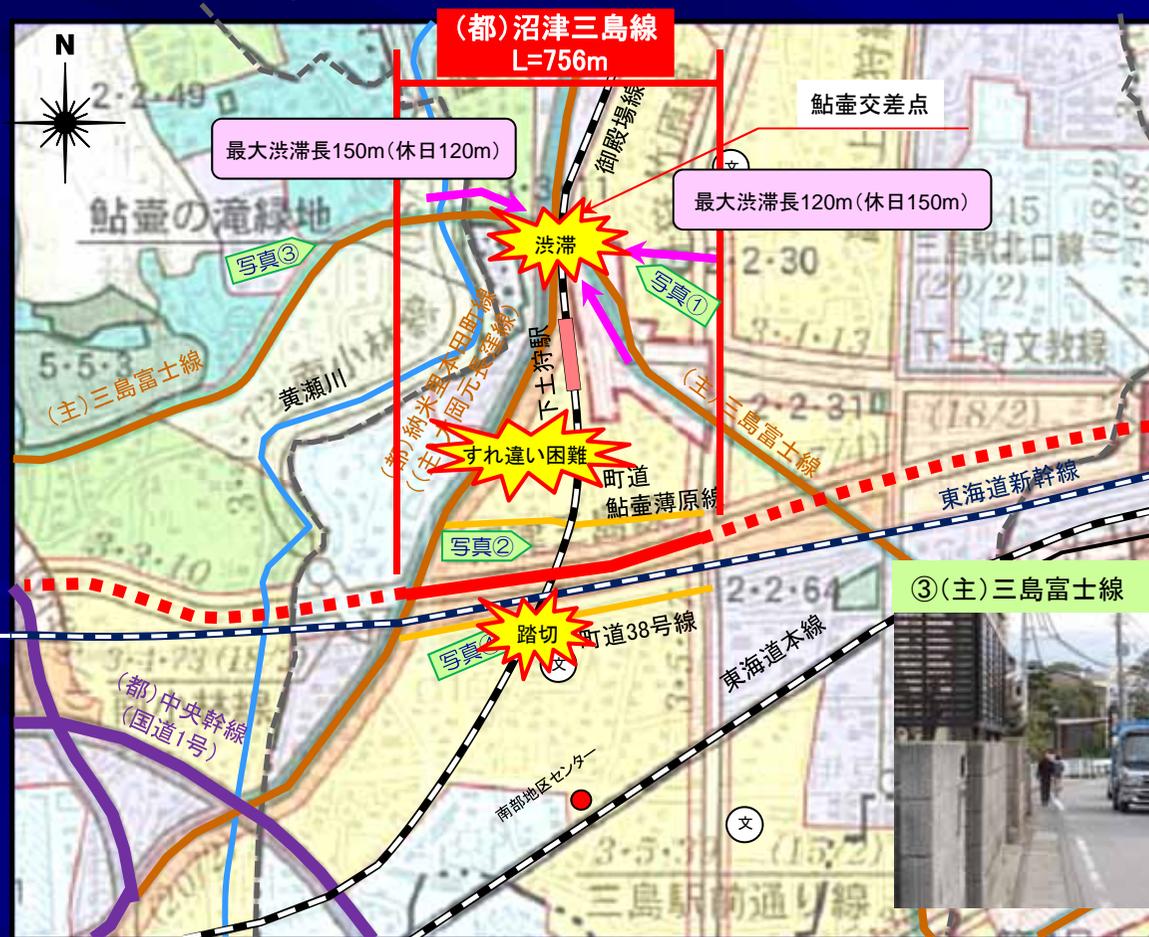
- ・長泉町は、首都通勤圏という立地条件や子育て支援推進施策により、人口が増加し市街化が進んでいる。市街化の骨格となる街路については、南北道路は整備が進んでいるものの、東西方向ではJR御殿場線により地域が分断されていることもあり幹線道路がほとんどない。



長泉町における
◆ : 踏切

周辺の道路状況②

- ・東西方向の交通が(主)三島富士線に集中し、鮎壺交差点において渋滞が発生している。
- ・本路線に並行する町道鮎壺蒲原線等は、幅員が狭隘で歩道が無いため、車両のすれ違いが困難であるとともに、歩行者や自転車が事故の危険にさらされている。



①鮎壺交差点



②町道鮎壺蒲原線



③(主)三島富士線



④町道38号線

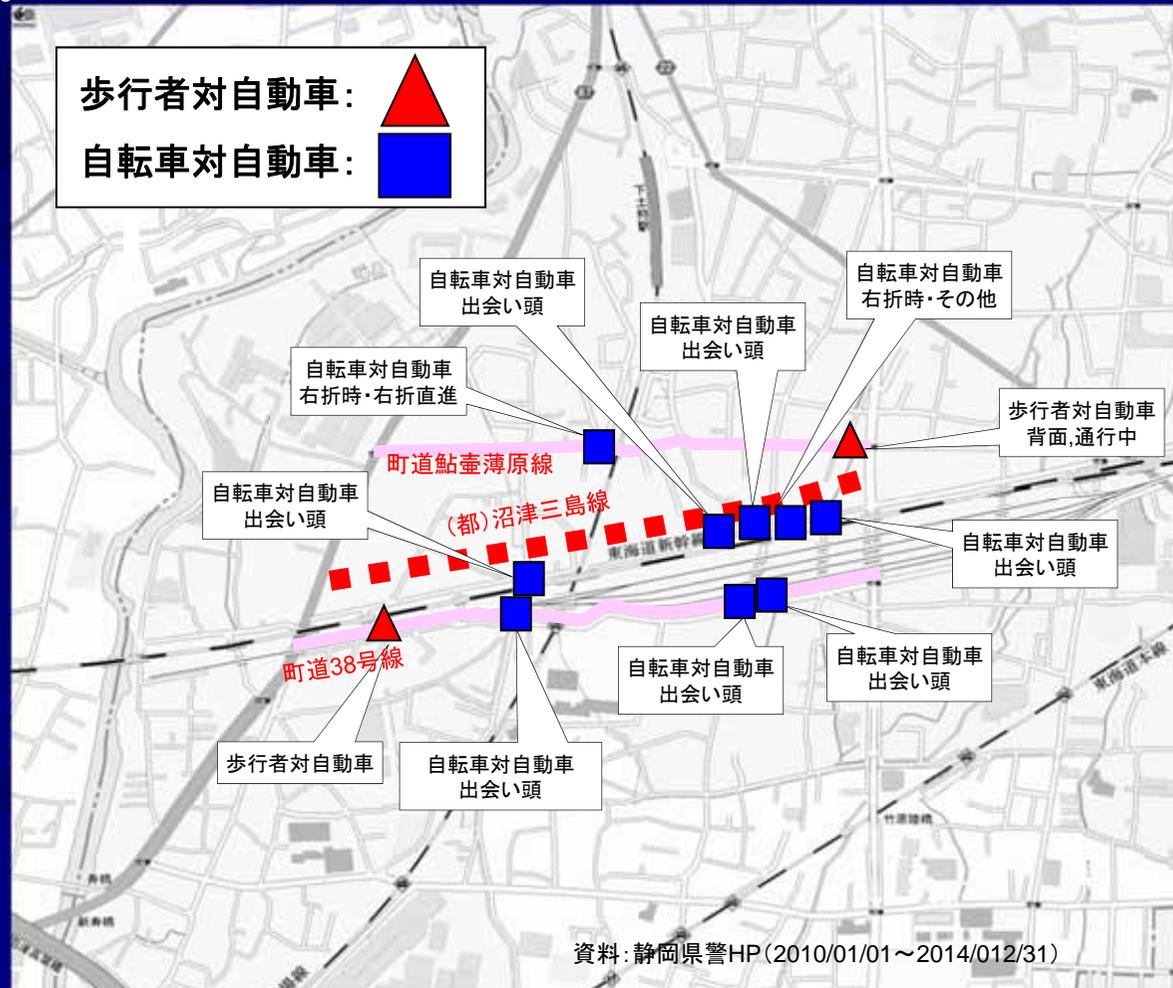


渋滞区間: 国土交通省提供資料より(H25.11調査結果)

周辺の道路状況③

■交通事故発生状況

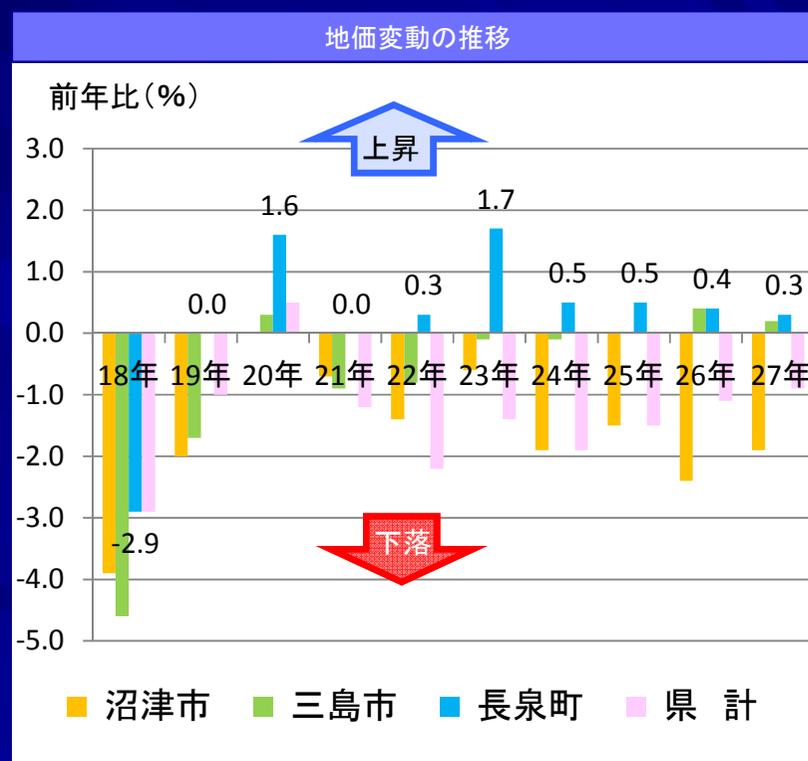
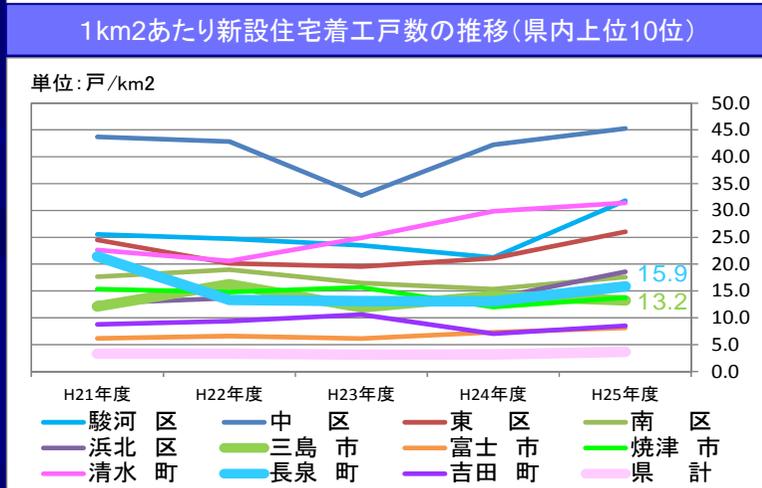
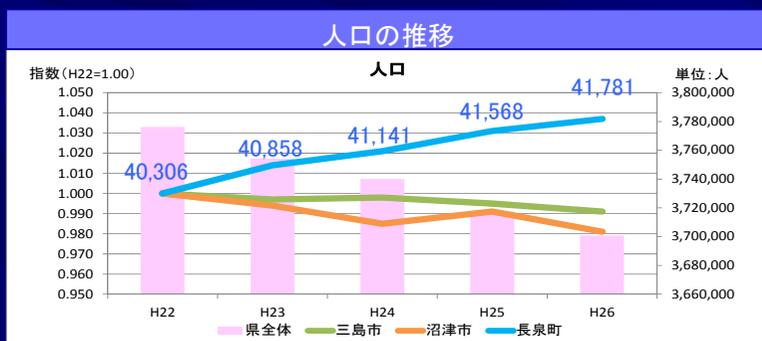
- ・並行する町道鮎壺薄原線や町道38号線において、自動車対自転車や歩行者の事故が発生している。



事業を巡る社会情勢の変化①

■人口増加が継続、地価の上昇継続、新設住宅着工戸数が増加傾向

- ・静岡県全体では総人口が減少するなか、長泉町では首都通勤圏という立地特性、子育て支援策を背景として町人口は増加傾向である他、町内の地価は平成22年以降継続して上昇傾向にある。
- ・新設住宅着工戸数では、隣接の三島市と共に5年連続して県内10位内に入っている。(平成25年:15.9件/km²・年、県内7位)



事業を巡る社会情勢の変化②

■プロジェクトの進展による雇用と宅地利用ニーズの増加

・「内陸のフロンティア」を拓く取組みにより、「長泉沼津IC周辺物流関連産業等集積区域」における大型物流施設が平成27年9月に稼働予定である。



長泉沼津IC周辺物流関連産業等集積区域



内陸フロンティア推進区域第1次指定
(平成26年5月27日指定)

【事業内容】

・有事に備えた災害に強い物流関連産業等の集積

「イオン長泉プロセスセンター」

敷地面積: 約34,000平米

延べ床面積: 約28,000平米

稼働時期 (予定): 平成27年9月

新規雇用 (予定): 約400人

年間取扱金額 (見込): 約500億円

【完成イメージ】



【スケジュール】

年度	事業内容
26年度	土地利用構想策定、造成・建設工事、土地利用調整、企業誘致
27年度	土地利用調整、企業誘致、工場稼働
28年度	土地利用調整、企業誘致
29年度	土地利用調整、企業誘致

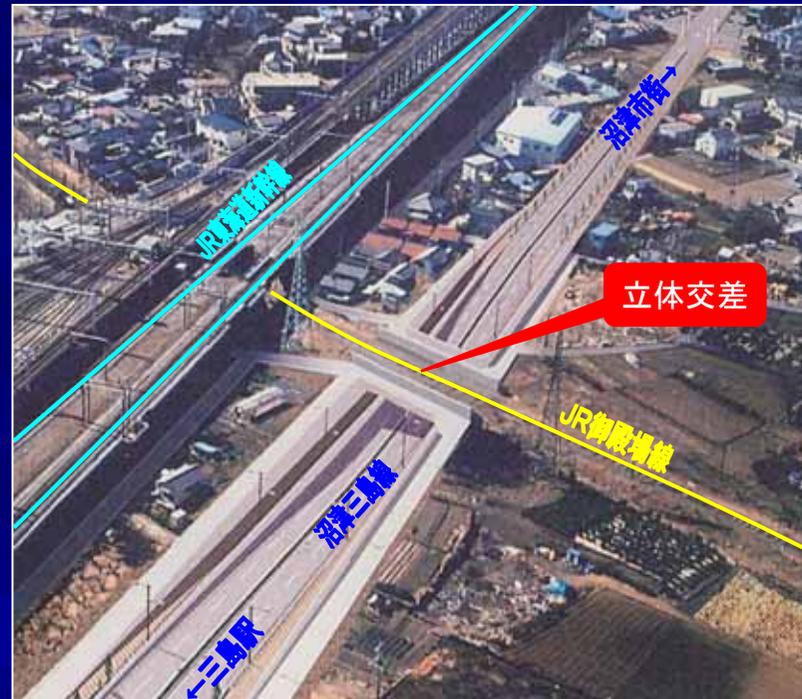
道路整備効果①

■ 円滑な交通の確保

並行路線:町道鮎壺薄原線

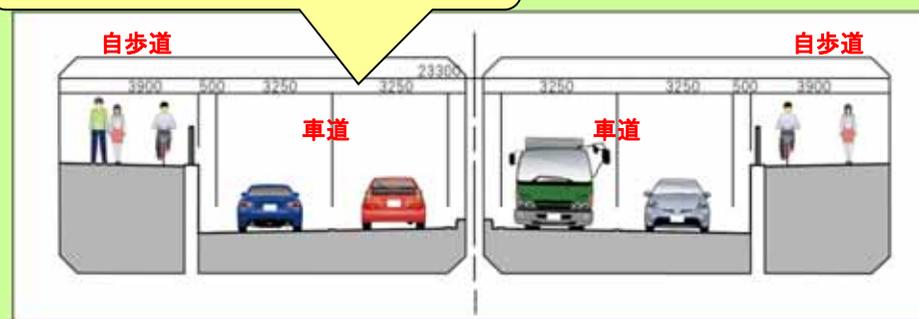


並行路線:(主)三島富士線



JR御殿場線との立体交差により
踏み切り待ち時間が解消

JR御殿場線交差部



道路整備効果②

- 生活道路の安全性の向上
- 快適な自転車・歩行者空間の確保

並行路線：町道鮎壺薄原線

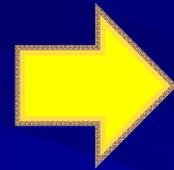


歩道が無い

並行路線：町道38号線



歩道が無い



(都)沼津三島線 平面部区間



広幅員の自歩道整備により
自転車・歩行者の安全性・利便性が向上
安全な避難路を確保

(都)沼津三島線 標準断面図



事業の投資効果

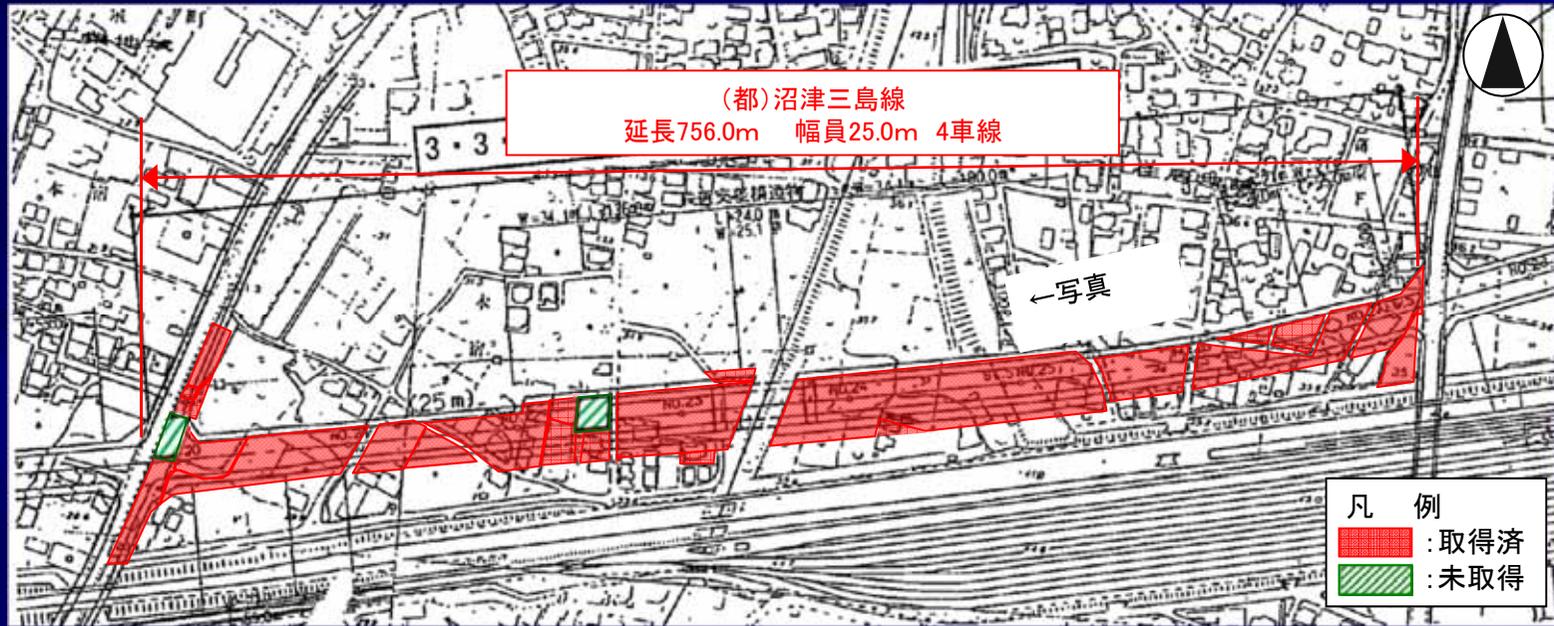
費用便益比: B / C = 1.26

総便益(B)の現在価値	141.73億円
走行時間短縮便益	106.37億円
走行経費減少便益	22.48億円
交通事故減少便益	12.88億円

総費用(C)の現在価値	112.44億円
事業費	116.06億円
維持管理費	0.31億円
用地残存価値	-3.94億円

注) 総便益及び総費用の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しない

事業の進捗状況(用地補償)



①東側区間の用地取得状況

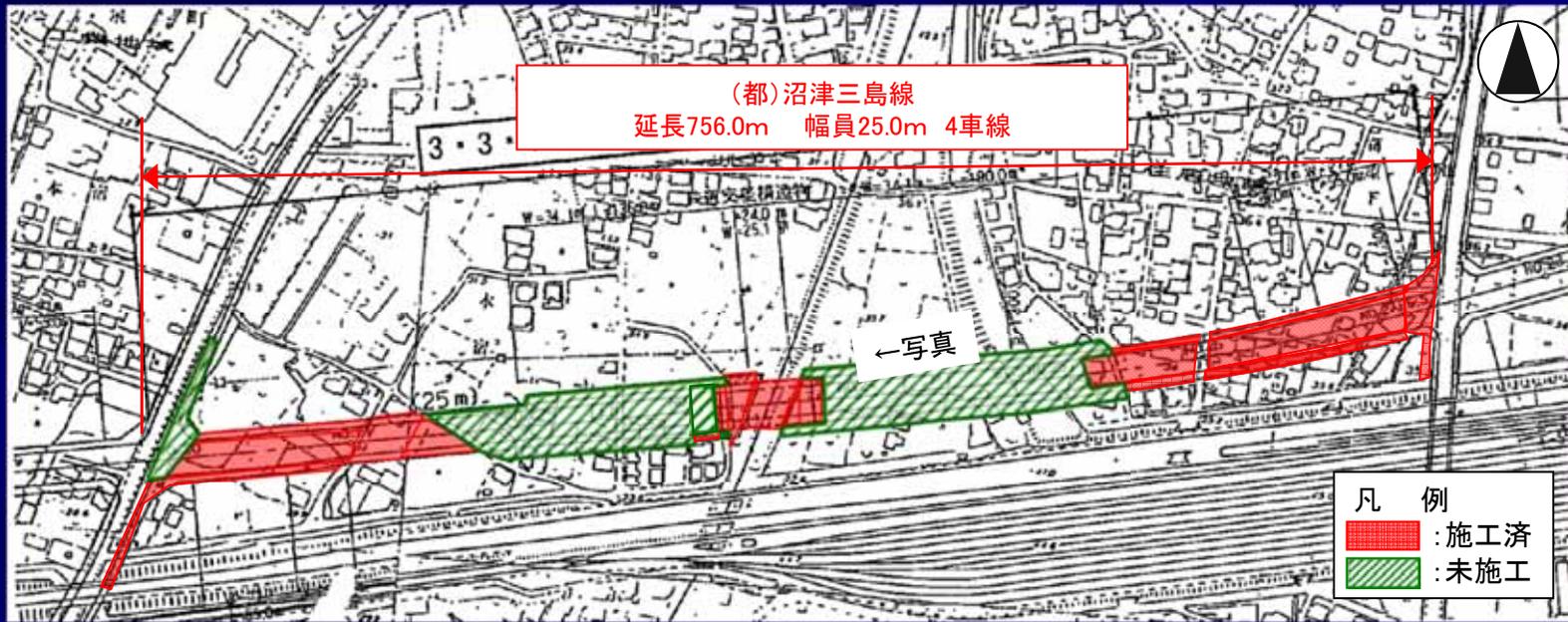


②西側区間の用地取得状況



事業費ベース : 98.0% (平成27年度末見込み)
面積ベース : 97.6% (平成27年度末見込み)

事業の進捗状況(工事)



①東側区間の工事進捗状況



②西側区間の工事進捗状況



事業量ベース：供用延長0.0%、工事費66.7%（平成27年度末見込み）

今後のスケジュール

年度	H28	H29	H30	H31	H32
用地補償					（平成31年度末） 供用予定
工事					

対応方針(案)

- 主要都市間を結ぶ重要な路線
- 沼津市・三島市間の移動の円滑化
- 生活道路の安全性向上



機能的な都市活動と
安全で快適な都市生活の確保に資する街路事業



事業を継続し早期完成を図る